令和3年(2021年)9月8日

農作物生育·技術情報8号 日高農業改良普及センタ-日高西部支所

日高農業改良普及センター日高西部支所 JAびらとり JA門別町

1 水 稲 中苗:ななつぼし

●生育状況調査

区分	稈長	穂長	穂数	遅速	備考
	(cm)	(cm)	(本/m³)	日数	※ ()は平年比
R3年	79.8	18. 1	552	早6	
平年値	74. 1	17. 2	507		不稔率 5%
差	+5.7	+0.9	+45		黄化籾率 55%

- (1) 9月上旬に行われた、各地区の刈り取り適期判定では、ゆめぴりかは概ね収穫可能な 状態になっており、ななつぼしについても収穫可能な物が散見されました。しかし8月 中旬以降の低温により、遅れ穂等では青粒が多いことから、収穫は若干遅らせ、9月11 日頃より始まると思われます。
- (2) 一部倒伏しているところが見られます。他の稲と一緒に収穫すると品質低下を招くので別刈りをしましょう。また、降雨で水が滞水したほ場では、速やかに溝切り等を行い、土壌表面を乾燥させましょう。
- (3) 収穫が遅くなると未熟粒は減りますが、着色粒が増え品質が低下します。再度玄米による収穫適期の判定が必要な方は、JA、普及センターにお知らせ下さい。

2 主要野菜

2 土安野采		
作 物 名	生育状況	技術対策
トマト	- 3~6段目収穫中。	・最低気温が12℃を下回る場合は
	・裂果、日焼け果、軟果が見られ	早めにハウスを閉める。
	る。	・かん水は少量多回数とし膨圧に
	・灰色かび病、うどんこ病、萎凋	よる裂果を防ぐ。
	病、ハモグリバエ類、アザミウ	・土壌還元消毒は9月15日までに
	マ類が発生している。	行う。
きゅうり	・8月中旬から収穫開始。	・うどんこ病・べと病防除は、発
	・親づるを摘心中。	生に応じて予防効果の高い薬剤
	・一部のほ場でうどんこ病・べと	と治療効果を伴う薬剤を使い分
	病の発生が見られる。	け、防除効果を高める。
ハウス軟白ねぎ	- 4~5月定植収穫中。	・病害虫が多発したハウスは計画
	・アザミウマ類、ハモグリバエ類、	的に土壌消毒を行う。
	が見られる。	
アスパラガス	・灰色かび病、斑点病の発生が見	・ハウス内外の除草を徹底する。
(ハウス立茎)	られる。	・追肥は9月中旬を最終施用とし、
	・一部のほ場で穂先の曲がりや穂	収穫終了後の過度な生育を防止
	開き等の株疲れ症状が見られる。	する。
		・株疲れが多数見られる場合は、
		早めに収穫を打ち切る。

3 畑 作

- (1) 秋まき小麦 品種: ゆめちから
 - ・適期は種を心がけ、越冬前の生育を十分確保しましょう。

【越冬前目標生育量】葉数6枚以上、茎数1,500本/㎡

・雑草対策は秋の除草剤散布が基本です。※防除ガイド参照

は種時期	は種量(10aあたり)	基肥(10aあたり)	
9月13~16日(適期)	8kg~9kg	・窒 素 : 4kg ・リン酸 : 14kg ・カーリ: 10kg	
9月17~20日	10kg~11kg		

注)土質は火山性土

*遅まきは、越冬性・起生期の分げつが劣るので避ける

(2) ばれいしょ

- ①茎葉枯凋後、土中に長くおくと黒あざ病菌核が付着し商品価値を低下させます。 茎葉処理2週間後を目安に収穫を開始しましょう。
- ②収穫作業は気温10°以上の暖かい日に行い、収穫後は涼しいところに貯蔵し、い もの温度を下げましょう。
- ③降雨の影響を受けているほ場では腐敗が進むため、特にほ場での一時選別を丁寧に 行い、収穫物は速やかに風乾させましょう。
- ④加工用ばれいしょなど、収穫の遅い品種は塊茎腐敗にも効果のある薬剤で引き続き 防除を行いましょう。※防除ガイド参照

4 畜産

(1) 牧草牛育状況(9月1日現在)

作 物 名	生 育 状 況			遅速	備考		
	項目	R3年	平 年	日数			
牧草(チモシー)	草丈(2番草)	58. 0cm	75. 2cm	遅10	2番草の生育は緩慢である。		

(2) サイレージ用とうもろこし生育状況 (9月1日現在)

作 物 名	生 育 状 況			生育期節	遅速	備考
	項目	R3年	平 年		日数	
サイレージ用とう もろこし	葉 数 稈 長	18.7枚 280.9cm	18.2枚 286.6cm	乳熟期 8/21	早7	8月前半の高温により登熟は、 進んでいる。

※熟期を確認しましょう。 平年値(乳熟期:8/28、糊熟期:9/9、黄熟期:9/24)

ほ場・品種により登熟進度が違いますので、雌穂を確認して黄熟期まで登熟を進めましょう。

(3) 飼養管理について

- ・引き続き暑熱対策に留意しましょう。昼夜の気温差が大きくなる時期のため、特に子牛施設の換気や温 度管理に気をつけましょう。
- ・繁殖管理の時間を確保し、発情予定牛のリストアップと確実な発情徴候の観察と適期授精をしましょう。

5 農作業安全対策

余裕を持った作業計画で、事故防止に努めましょう! 作業予定を事前に確認しあい、適正な労働配分を考慮しましょう!

収穫作業に備え、機械の点検整備を行いましょう!!